

「車いす & デフハンドボール」レポート

チャレスポ！
TOKYO

2024年1月20日(土) 10:00-17:00 | 東京体育館



- I 日時 令和6年1月20日(土) 10:00~17:00
- II 会場 東京体育館 メインアリーナ (床養生、土足可)
- III 主催 東京都、東京都障害者スポーツ協会
- IV 対象 自由参加 (延べ170人/来場者約1,000人)
- V スタッフ (一社)日本車椅子ハンドボール連盟 (JWHF)
・中島専務理事・安藤理事・宮本理事・長井委員・木村委員
(公財)日本ハンドボール協会デフハンドボール専門委員会 (JHAdhC)
・中村委員長・亀井委員・田中委員・小林選手 計9名

VI 準備物

- 【JWHF】 車椅子、デジタイマー、ボール、ビブス、マーカー、リーフレット、長椅子
クイックプレイ、PC、プロジェクター、テーブル、防球ネット & ボール
- 【JHAdhC】 PR チラシ、JHL 体験会チラシ、のぼり & ボール
- 【主催者】 ラインテープ、ホワイトボード、長机、コードリール、IDパス、弁当
防球用卓球フェンス

VII 内容

(1) 全体

- ・7:30 機材搬入・会場設営 8:30 スタッフ・ボランティア集合 10:00~17:00 開催
- ・パラリンピック競技をはじめとした様々なパラスポーツの体験・展示
- ・ゲストによる競技体験やステージイベント
- ・パラスポーツを始める、続けるための情報提供 など

詳細はコチラ→

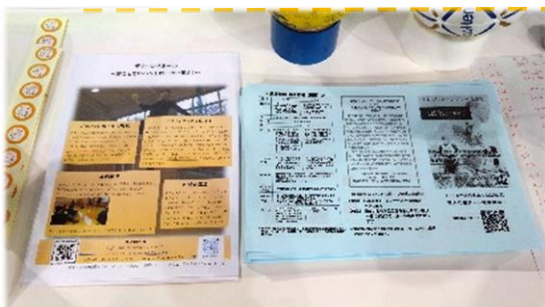
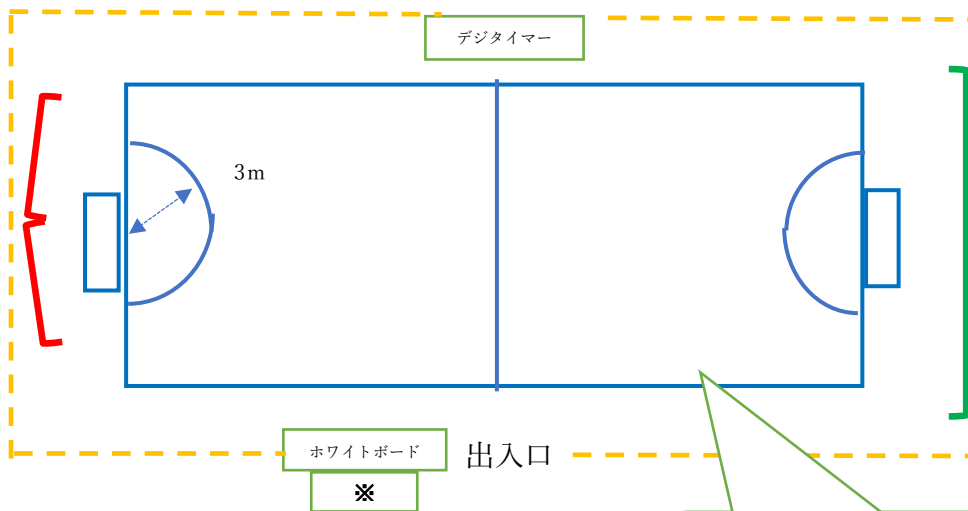


(2) 車いす & デフハンドボール

- ・年齢・障がい状況等に応じて臨機応変にスタッフ・ボランティアが対応
- ・1クール15分 (説明2分、チェアワーク・パス・シュート7分、ゲーム6分)
- ・合間30分間、元プロ卓球選手でメダリスト水谷隼さんが合流
- ・聴覚障害者には JHAdhC スタッフに手話通訳で対応していただいた。

VIII コート

※受付、車椅子 & デフハンドボール活動紹介 PC・プロジェクター、チラシ等



←PR パンフ、
リーフレット

- ・コート
 - サイドライン 20m
 - エンドライン 10m
 - センターライン 10m
 - ゴールエリアライン 半径 3m
- ・ゴール(クイックプレイ) 2.4m×1.7m
- ・防球ネット 幅 10m×高さ 2m (図右)
- ・防球ネットの代用クイックプレイ (図左)

Ⅹ スナップ写真

① 車いす&テフハンドボール



年齢・男女不問で楽しんでいます♪ パラカヌー日本代表選手(左)も参加してくれました。



水谷隼さんも一緒にプレーを楽しみました♪



3世代家族のエースに
インタビュー📎

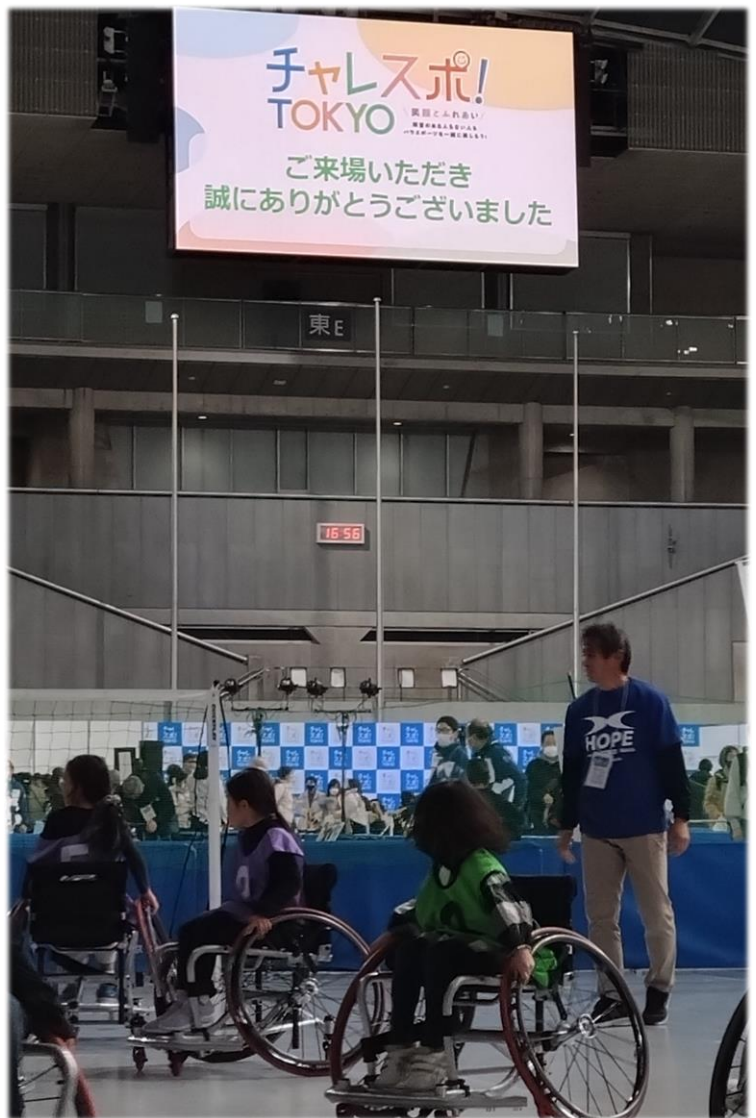


献身的にサポートしていただいたボランティアの皆さん
東京パラ・支援学校でボランティア経験豊富な皆様から多くの気づきと学びをいただきました！



↑
ブース入口に置かれた案内板

閉幕ぎりぎりまで絶え間なく
延べ 170 名の皆さんに笑顔で
楽しんでいただきました！ →



② 他のブース他



チェアラグビー「衝突体験」



トライアスロン



チェアスキー



フライングディスクで、卓球で、「ストラックアウト」



分身ロボット

OriHime→

(八王子福祉園)



東京オリ・パラマスコットキャラクター
ミライトワ & ソメイティ

会場入り口周辺の
キッチンカー →



← スタッフ9人
復興支援チャリティーTシャツ
で対応しました。
REALHANDBALLの松山様
ご対応ありがとうございました！

X 所管

今回初めて参加させていただきました。会場に集った多世代（4～70歳代）、
多人種、多様な多くの参加者と、ボランティア・スタッフ・運営事務局がお互い
にリスペクトをもって喜びを分かち合い、“笑顔とふれあい”に満ちた空間を共
有させていただいたことに感謝いたします。

14種目、10の取組紹介・展示ブースの取組は大変参考になりました。また、
ボランティアや運営事務局の皆様方から、「子どもも大人も皆さん楽しそうであ
ったね」と声をかけていただき、お陰様で「車椅子&デフハンドボールが多様な
人々が共に楽しめる魅力あるスポーツである」ことをPRし再確認することが
できました。

東京都、東京都障害者スポーツ協会、大会運営事務局をはじめ、ご支援ご協力を
いただきました関係各位に感謝と御礼を申し上げます。

文責 中島 昭博

(一社) 車椅子ハンドボール連盟専務理事

(公財) 日本ハンドボール協会デフハンドボール委員会副委員長

